

autocult

Opel Admiral Feuerwehr (ドイツ, 1938)

緊急車両

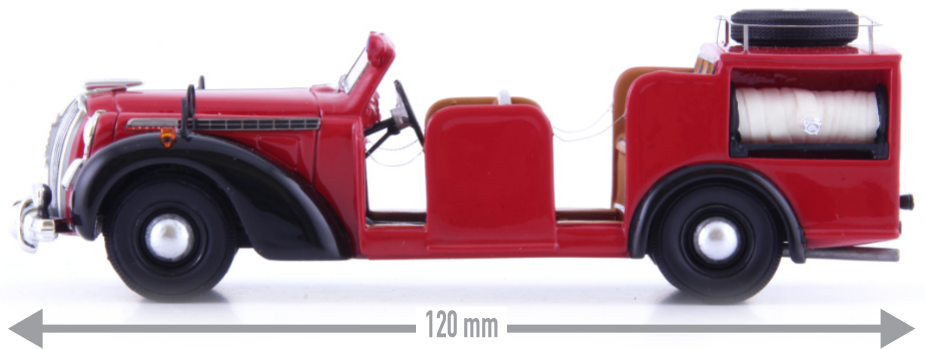
Scale 1/43

#12016

available

09/2022

Limited edition 333 Stk.



アドミラル消防隊

1945年、ドイツの自衛消防隊は、車両を電動化する問題に直面した。当時の不幸な状況では、すぐに使用可能な消防車は期待できないので、即席のもので解決することになった。

タウヌス地方のホーフハイムの自衛消防隊も、この問題に直面していた。このとき、幸いにも軍用車として残っていたアドミラルが入手できた。地元企業の協力と自分たちの力で、戦前のオペル車を消防車に改造した。アドミラルは、ボディがアンダーボディにしっかりと固定されておらず、自立構造になっていない最初のオペルであったことが功を奏した。これによって、ボディを自分のニーズに合わせる道が開かれたのである。つまり、まず最初に、リアにホースキャスター付きの上部構造が取り付けられ、迅速な乗降のためにドアが取り外されたのである。ルーフもこの考え方の犠牲になった。外観は、改装箇所、特に後部が実用的なデザインに仕上がっている。フロント部

分だけが、オリジナルのデザインのまま残された。車は、改装の最後の締めくくりとして、赤いペンキで仕上げられた。

改装されたオペルは、ホーフハイムの自衛消防隊の隊員を輸送する役目を果たし、最大9人の消防隊員が2つの木製ベンチに乗って次の任務へと向かうことができた。0.75トンの動力噴霧器用トレーラーは、しばしばトパーで牽引されたが、その重量は、エンジンが強力だったため何の問題もなかった。トレーラー牽引時の、最高速度は時速90キロ、トレーラーがなければ時速120キロで、燃料消費量は100キロあたり最大40リットルであった。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de